

学習活動	時間 (分)	指導上の留意点 【UD化の手立て】	準備物
1 既習事項を振り返る。	2	・伴って変わる2つの数量の関係を考察するためには、表を使うとよかったことや、表を横や縦に見て変わり方を調べ、きまりを見つけることができたことを押さえ本時につなげる。	書架カメラ
2 学習問題を把握し、めあてを確認する。	10	◎本時のキーワードを抜いた形でめあてを提示することで、伴って変わる2つの数量を明確にする。学習問題を把握した後、□に何が入るかを考えさせる。 【焦点化】	書架カメラ
<div data-bbox="129 517 639 629" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>だんの数が変わるとまわりの長さはどのように変わるか調べよう。</p> </div> <p>・問題を読み、見通しを立てる。</p> <p>・条件を確認する。</p> <p>① 1辺が1cmの正方形</p> <p>② だんの数が増えていく</p> <p>③ まわりの長さを調べる</p>		<p>◎問題解決に必要な条件を確認し、整理して板書する。【焦点化】</p> <p>◎具体物を黒板に示し、段数が増える様子を捉えさせる。また、その時の周りの長さがどこを表しているのか全員で確認させる。【視覚化】</p> <p>・段数がどんどん増えていった時の周りの長さを調べる時に表を使うとよいことを押さえながら取り組ませる。</p> <p>・表のカードを用いて言葉と数字を埋めさせる。</p>	<p>具体物</p> <p>ワークシート</p> <p>表カード</p>
3 学習問題に取り組む。	25	<p>① 自力解決をする。</p> <div data-bbox="121 1178 552 1570" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>予想される児童の反応</p> <p>・表を横に見ると、段の数が1増えると周りの長さは4増えている。</p> <p>・表を縦に見ると、足して5、10、15となっている。</p> <p>・表を縦に見ると周りの長さの数は、いつも段の数の4倍だ。</p> </div> <p>② グループで話し合う。</p> <p>③ 全体で確認する。</p>	ワークシート
4 学習を振り返る。	8	<p>・段の数と周りの長さを調べるためには表をどのように見たらよいかを押さえ、自力解決につなげる。</p> <p>・既習の学習を生かし、表を多様な見方で見るができるようにする。</p> <p>・ワークシートや表には、図や言葉を使い、一目で分かるように書かせる。</p> <p>★児童がそれぞれの考え方の類似点や相違点を意識して考えられるようにする。</p> <p>★自分たちの考えを、図や言葉を用いてより分かりやすく説明させる。</p> <p>★自分の考えや友達の考えのよさに触れさせる。</p> <p>【共有化】</p>	ワークシート
<div data-bbox="568 1783 1493 1939" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価規準</p> <p>伴って変わる2つの数量の関係を表に表し、変化の特徴を調べることができたか。(発言、ワークシート)【思考力・判断力・表現力】</p> </div>			
5 次時の予告をする。		<p>・本時の学習で調べた変化の特徴を式に表すことができないか触れさせる。</p>	

